

【第 1 種社会福祉事業：特別養護老人ホーム事業】

事業計画 特別養護老人ホーム 麗峰苑

1. 基本方針

入所者が「生活の場」として快適に住める家庭的な環境づくりを心がけ運営する。

2. 事業目標／方針

事業目標	事業方針
入所者一人ひとりの個性や生活リズムを尊重したケアを目指す	① 入所者一人ひとりのニーズと意思を尊重し、残存機能の活用を図り、自律的な生活の機会を得られるように努める。 ② 入所者の望む暮らしに着目し、生活の中での楽しみや生きがいを通して「その人らしい生き方」の実現を目指す。 ③ 感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築する。
地域福祉・地域活動に積極的に関わりを持つ	① 積極的に保育園・小学校・中学校・高校等と関わりを持つことで地域社会の一員としての役割を果たす。 ② 介護予防講座を開催し、地域住民が住み慣れた地域で暮らし続ける為の社会資源としての役割を果たす。
職場の働きやすさと働き甲斐を追求した職場環境の確立を目指す	① 職員同士がお互いを認め合い、高め成長できる職場風土の構築を目指すべく、自己目標設定シートを実施、評価し、職員のモチベーションアップに繋げる。 ② 職業性ストレスチェック制度の実施、高ストレス者の産業医面談を実施し、職員が安心して働ける施設環境に努める。 ③ 働き方改革による、年次休暇について職員の理解と協力のもとに公平・確実に取得の実施を図る。 ④ 安全衛生委員会の年間計画の基、職員自らが働きやすい職場づくりを目指せる環境を整える。

3. 施設サービス

次のサービスを重点的に継続して行う。

(1) ユニットケア… 介護が必要な状態になっても、ごく普通の生活を継続する事が出来るように、在宅に近い居住環境で、入所者一人ひとりの個性や生活リズムに沿い、他者との人間関係を築きながら日常生活を営むことが出来るように支援する。

(2) 食事… 個人の嗜好や今までの食生活を尊重し、一人ひとりの状態に合わせた食事を提供する。リビングのキッチンでは、炊事

の音や匂いも重視し炊飯をおこない、家庭的雰囲気の中で食事を頂く。

- (3) 入浴… 個人浴槽、特殊浴槽で入浴できるので、個人の状態に合わせた自由な時間に自分のペースで入浴できる。また、プライバシーに配慮し、職員付添のもとで安心して入浴できる。
- (4) 排泄… 安心して排泄ケアに関わることが出来るように信頼関係を築き、人としての尊厳を守り、プライバシーに配慮する。個別の対応を行い自然な排泄が出来るよう支援する。

4. 地域との交流促進

- (1) ボランティア団体の高齢化が進む中で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、地域での福祉ニーズは益々複雑、多様化してきており、地域活動団体が連携して、効果的に地域活動ができるよう連携を図っていく。
- (2) 新たな試みとして、地域介護予防講座を企画するとともに、活動のきっかけづくりの場を提供することにより活動の裾野を広げ、地域活動をする人材発掘に努める。

5. 年間行事

開催月	行事名	開催目的
5月	たんぼぼ農園開園式	開園式を通じて春の訪れや野菜作り、収穫の喜びを感じる。
	お花見ドライブ	近隣のお花見スポットをドライブし外出を楽しむ。
	※平舘小学校大運動会	運動会の観戦と応援参加。
	※西根第一中学校体育祭	体育祭の観戦と応援参加。
7月	夏祭り(縁日)	家族や地域住民と交流を深め、思い出作り、気分転換の場とする。
9月	長寿を祝う会	家族、職員全員で入所者の長寿を祝う。
10月	大地みのりの会	農園で採れた里芋を使った芋の子汁を食べ、収穫の喜びを皆で分かち合う。
	秋のスポーツ大会	入所者の体力向上と他入所者との交流を図る。
	※西根第一中学校文化祭「西鈴祭」	ステージ発表の観賞。
	農園カレー作り	たんぼぼ農園で収穫した野菜で入所者と一緒にカレーを作り、食べることで収穫に感謝する。
12月	忘年会	皆で今年一年を振り返り、年内の苦労を慰労すると共に交流の場とする。

12月	クリスマス会	各ユニットで趣向を凝らし、季節行事を楽しみながらクリスマスケーキを味わい、レク等で交流を深める。
	餅つき	皆で協力して餅をついてお供えを作り、交流を深める。ミルク餅のあんこやきなこ味を楽しむ。
1月	新年交賀会	新年を慶祝し、入所者と職員の交流を深める。
2月	節分（豆まき）	豆まきや余興を楽しみながら厄を祓う。
3月	ひな祭り	季節行事を楽しむ。 （お雛様を飾り 写真撮影 甘酒）など

※地域交流の行事です。

毎月のクラブ活動	開催目的
手芸 生け花 おいしんぼ 園芸 駄菓子屋「たんぼぼ」 クッキングクラブ	① 個人の趣味活動の継続を図り、ユニットを超えて他者との関わりを深める。 ② 土や花等に触れる事で、入所者のセラピー効果を得ることを目的とする。 ③ 駄菓子屋にユニットから買い物に来て、自分で選ぶ楽しみを味わう。駄菓子を食べて思い出話を語るなど、認知症予防を図る事を目的とする。
自治会 麗峰苑大学	自治会を通して入所者の意見を聞き、その内容を施設運営に反映することを目的とする。また、認知症予防や機能訓練等を参加型の活動として、自主性と意欲を引き出し、生活機能を図る事を目的とする。
不定期の活動	開催目的
ほほえみ喫茶	趣向を凝らした季節のおやつを食べ、ドリンクを自分で選ぶことにより、選択する喜びを感じ、他入所者との交流を図ることで生活に潤いを与えることを目的とする。

*各ユニット行事や家族交流会、誕生日のお祝い等の日常的に行っている行事等は除く

6. 施設運営目標

1ヶ月平均入所者 60.0人（前年度当初 60.0人）

【第2種社会福祉事業：短期入所生活介護事業】

事業計画 麗峰苑指定（予防）短期入所生活介護事業所…空床利用型

1. 基本方針

- (1) 介護保険制度の趣旨に沿って、利用者一人ひとりの意思及び人格を尊重し、在宅における生活と利用中の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、利用者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援することにより、利用者の心身機能の維持並びに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。
- (2) 利用者の意向や心身の状況をよく理解し、適切な対応に努め、安心して利用できるよう援助に努める。
- (3) サービス利用の理由として、介護者や家族の疾病、冠婚葬祭、出張休養、旅行などが多いことから、利用者と家族を援助の対象者として一体に捉え、援助を行うよう努める。

2. 事業目標／方針

事業目標	事業方針
在宅生活継続と自立支援	① 利用者の在宅生活を尊重し、自宅での自立した生活が無理なく継続出来るよう支援を行う。 ② 在宅における介護者の介護力の維持が図られるよう、関係機関と連携していく。
他者との交流にて楽しみを見出すことができるような支援	他者との触れ合いの中で、新たな趣味サークルや地域講座を行うことにより、明日への楽しみを見出すことが出来る支援を行う。
利用者の尊厳を第一に考え自立支援に向けたサービスの提供	利用者一人ひとりが自分らしく生活することができ、且つ尊厳を重視した生活が営めるよう、自立支援を観点にしたサービス提供を多職種協働で実施する。

3. 年間行事は、施設行事と同じ

4. 地域での取り組みは、施設での取り組みと同じ

5. 事業運営目標

1ヶ月平均利用者 3.0人（前年度当初 3.0人）

【公益事業：居宅介護支援事業】

事業計画 麗峰苑指定居宅介護支援事業所

1. 基本方針

主に八幡平市の介護保険の利用相談とケアプラン作成を推進する。地域の在宅生活のニーズを把握し、必要なサービスを展開していく。ケアプラン作成に当たっては、「その利用者が可能な限り自宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう配慮する」という基本方針に基づき、利用者及びその家族の要望を尊重して作成する。

2. 事業目標／方針

事業目標	事業方針
利用者や家族の在宅生活の支援に努める	① 利用者と家族との面談を通して、課題の把握とサービスの支援を適切に行う。 ② サービス提供事業所と情報を共有し、利用者の自立支援と介護者の介護負担の軽減が図れるように努める。
医療及び関係機関との連絡・連携に努める	① 在宅生活が継続できるよう、かかりつけ医との情報交換を行う。 ② 入院時、病院等への訪問や電話連絡にて必要な情報を提供する。 ③ 退院時、病院等に訪問し、カンファレンス等で必要な情報を収集し、在宅生活に戻ることができるようサービス調整等を行う。
介護支援専門員の質の向上に努める	① 高齢者支援全般に関する内外的な研修に参加し、相談支援できる知識の取得に努める。 ② 地域ケア会議に参加し、地域の困難事例の把握に努めるとともに、自立支援に資するケアマネジメントの実践力を高める。
新規利用者様の確保	地域のつながりを大切にし、新たに介護サービスを必要とされる利用者が麗峰苑居宅介護支援事業所を安心して利用できるよう関係機関等への働きかけを行う。

3. 事業運営目標

介護給付 26.0 件／月（年間 312 件）

予防給付 9.0 件／月（年間 108 件）

計 35.0 件／月（前年度当初 35.0 件／月）